

本校では、今年度、次のようにアクションプランを設定し、目標分析に向けて取り組みます。

平成 30 年度 荻生小学校アクションプラン 1	
重点項目	【徳】生徒指導 ーやさしくー
重点課題	好ましい人間関係を築く子供の育成
現 状	・児童会が中心となり、地域と連携して「さわやか挨拶運動」を推進した結果、あいさつに対する意識が高まり、明るく元気に挨拶をする子供は増えている。 ・朝だけでなく「いつでも」、校内だけでなく「どこでも」、地域の方や来校者など「誰にでも」、明るく大きな「相手に伝わる声で」挨拶ができるようにするため、継続して取り組んでいく必要がある。 ・温かい人間関係づくりのために、乱暴な言葉遣いや名前の呼び捨てをしないなど、指導が必要な子供が見られる。
達成目標	強調週間を設け、児童の自己評価で元気のよいあいさつや望ましい言葉遣いができたとする日が8割以上ある児童の割合90%以上を目指す。
方 策	① 地域の方と行う「さわやか挨拶運動」や計画委員会が呼び掛ける毎朝の「挨拶運動」を通して、挨拶への意識を高める。 ②年間を通して4A運動（あいさつ、あつまり、あとしまつ、あんぜん）を推進する。 ③計画委員会や代表委員会が中心となり、全校で「ぽかぽか言葉」を推進する。 ④積極的な生徒指導により、互いのよさや違いを認め、励まし合える集団づくりに努める。
平成 30 年度 荻生小学校アクションプラン 2	
重点項目	【知】学力向上 ーかしこくー
重点課題	自主的に学習する子供の育成
現 状	・家庭学習がんばり週間を隔月で設けたり、自学ノートカバーを効果的に活用したりすることで、家庭学習に意欲的に取り組もうとする子供が増えている。 ・確かな学力の定着のため、学習規律（返事、姿勢、鉛筆の持ち方等）の定着を図ったり、「聞く・書く・話す（発表）」活動を大切にして、落ち着いて学習に取り組むようにしているが十分とは言えない。 ・家庭学習（自学ノート）の内容や丁寧さについては、十分でない子供もいる。
達成目標	強調週間を設け、家庭学習に取り組む時間が学年の目標（学年×10分）に達成した日が8割以上ある児童の割合90%以上を目指す。
方 策	①家庭と連携して、家庭学習の習慣が身に付くように努める。 ②学習規律を大切にし、安心して授業に参加できる雰囲気づくりに努める。 ③「自学ノート展」等でよいノートを展示したり、授業と連動した内容を提示したりすることにより、自学の内容面の充実にも努める。
平成 30 年度 荻生小学校アクションプラン 3	
重点項目	【体】健康・安全の指導 ーたくましくー
重点課題	基本的な生活習慣と運動の習慣が身に付いている子供の育成
現 状	・大休憩や昼休みには進んでグラウンドや体育館へ行き、体を動かす子供が多く、「みんなでチャレンジ3015」にも意欲的に取り組んでいる子供が多い。 ・日頃から体を動かすことを好み、進んで運動する子供と、わんぱくタイム等特設された時間以外には体を動かさない子供の差が大きい。 ・基本的な生活習慣が身に付いた子供もいるが、就寝時刻が遅く、睡眠時間が十分でない子供もいる。
達成目標	「みんなでチャレンジ3015」の達成率が90%以上になることを目指す。
方 策	①週2回のわんぱくタイム（大休憩時）には、ランニング（晴天時）と長なわとび（雨天時）等に取り組み、運動する楽しさを感じ取ることができるようにする。 ②体育委員会による企画や「みんなでチャレンジ3015」「なわとびカード」等の活用により、運動する環境づくりを行い、運動する習慣が身に付くように努める。 ③「みんなでチャレンジ3015」の進行状況を掲示し、定期的に更新したり、達成者を発表したりすることにより意欲付けを図る。